



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB -- CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2009~2010)

- ・国際協会会長 『The Power of One』 「一つとなる力」
Kevin Comming (Canada カダ)
- ・アジア地域会長 『The Power of One』 「一つとなる力」

スローガン 「Dreaming Asia, Loving Asia」
「夢見るアジア、愛するアジア」

Chon Byung-Koo (Korea)

- ・西日本区理事 『すべてのいのちを大切に』
「Love & Care for All the Living Things」
-いのち・平和・環境- -Life, Peace, Environment
鈴木 誠也 (神戸ポートワイズメンズクラブ)

- ・六甲部 部長 『希望の^{ほしび}灯 となろう』 「Be the Light of Hope」
大田 厚三郎 (神戸西クラブ) - 地域社会を励ます活動を実践しよう -

- ・西宮クラブ 会長 浅野 純一 『奉仕活動を行えることに感謝し、力を合わせて今一步活動の輪を広げよう』

2010年3月 西日本区強調ポイント “EF・JWF” EF・JWFを通してワイズ活動を考えよう。

2010年3月

742号 60周年

63期9号

since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

会 長 浅野 純一
直前会長 濱 浩一
副会長(次) 馬場 一郎
副 会 長 岩田 健司
書 記 廣瀬 一雄
書 記 岡田 佑一郎
会 計 山本 常雄
会 計 足立 康幸
監 事 阪根 新
監 事 小野 勲紘
担当主事 三島 浩司
六甲部代議員 山口 政紀
部メネット主査 浜美智子
区事務局員 小野 勲紘

2010年3月第1例会のご案内

日時: 2010年3月19日(金) 19時~21時

場所: 西宮YMCA保育園3F

ドライバー: 小野メン 堤メン

1. 開会点鐘 浅野会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. ゲスト紹介 浅野会長
5. 食前の感謝&会食
6. ゲストスピーカー: 賀川記念館次期館長
賀川 督明氏 テーマ:「痛みのシェア」
7. 今月の誕生日のお祝い
8. Y's ニュース 浅野会長
9. YMCA 報告 三島主事
10. 閉会点鐘 浅野会長

奥田一彦ファンド事業主任(大阪サウスクラブ)

今月の聖句

『あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたを任命したのである。互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。』 ヨハネによる福音書15章16~17節

清水 彬久メン 選

2月 例会出席状況	在籍会員数	19名
第1例会(2.19金)	第2例会(2.5金)	
メ ン 12名	メ ン	8名
メネット0名	ゲスト0名	メネット 0名
合計12名	(出席率89.5%)	合計8名

Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

23日 清水順子様

24日 藤原俊夫様

26日 長井慎吾様

【今月の言葉】 『EF・JWF』

EF Endowment Fund 信託基金

JWF Japan West Y's Men's Fund

西日本ワイズ基金

ご覧ください。URL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

会長メッセージ 浅野純一 会長

3月になりました。早いもので退職してあっという間に1年が過ぎました。私の個人的なことですが、4月より阪神御影駅前のユースプラザで、木曜日の午前中に、一般の方に向けての講座、「高校で学んでいる世界史」を始めます。動機は海外旅行をしたときに、旅行先でお話をした方が、「歴史を勉強すれば旅行がもっと楽しくなるのに」と言われたときでした。ボランティアで、高校で教える程度の歴史ならお話ししてもと思い、今回講座を始めることになりました。私は県立高等学校という場で守られて仕事をしてきましたが、一度、その場を離れて、どの程度の仕事ができるのかも試していきたいと思っています。また、YMCAのユースプラザの活性化に一役買えたらとも思っています。

歴史は英語で history といいます。まさに story です。それぞれの立場での story があります。日韓で共通認識できる歴史を作る作業が行われています。先頃、両国の歴史認識の溝が大きいとの報道がありました。共通の歴史認識を持つことは無理なことと思います。私も話をしますが、それに対してさまざまな意見をお聞きしたいとも思っています。お時間のある方、一度来て頂き、感想でもお聞かせ願えれば幸いです。

第1例会の報告

ドライバー 清水 彬久メン 阪根 新メン

2月19日(金) 19時~の阪根メンによる詳細な例会報告は3月ブリテンパートとして掲載しております。

当日の演題・内容は以下のとおりでした。

ゲストスピーチ 鶴飼卓(うかいたかし)氏

NPO 災害人道医療支援会 (HUMA) 理事長

西宮病院名誉院長・兵庫県災害医療センター顧問

お話し 緊急人道医療支援について

- その現実と課題

1 西部交流会(西中国部・瀬戸山陰部・六甲部)が2010年2月6日(土)開催されました。

山口政紀メン

前日来の冷え込みは、予想どおり六甲トンネルを抜けると雪国へ向かう旅情たっぷり、早速小雪の舞うお天気でした。鳥取行きのバスも快適、雪深い県境を越えて智頭線と並走するように新しい高速道路が出来ていました。鳥取駅では雪がなくほっと一息、福島瀬戸山陰部長はじめ鳥取クラブの方々のお迎えがあり、一路会場の賀露港に到着。ここは激しい北風と海鳴りの轟く鳥取砂丘の西側で日本海を目の前にしたロケーション、大きな波が打ち寄せていました。開始までの時間は会場の「海鮮市場かろいち」のショッピングで帰路の買い物を予約しました。

「カニ食う会」はお元気な元西部部長の森本成人メンの挨拶で始まり、三部長の挨拶の後前田鳥取クラブ会長の食前感謝に続いて山口は乾杯のお役をしました。

この「カニ食う会」は以前から鳥取クラブが特別例会で開催していて、多くのワイズメンのグルメの話題であったようです。次々と運ばれる料理の次ぐらいいはお鍋でのカニすきとお雑炊かな~と期待していました。でもお鍋はとうとう最後まで出てこなかったのです。ああ残念!でも森本メンはこの日誕生日で、目出度く77歳になられたので皆さんでまた乾杯をしました。三部の部長の出席はありましたがクラブ会長の出席は西中国部から2クラブ、ホスト瀬戸山陰部は4クラブ、残念ながら六甲部は6クラブ10名の参加でしたが会長の出席はありませんでした。

総勢40名の参加での交流会も美味しい料理と歓談が続く中、竹居洋子瀬戸山陰部初代部長の挨拶でお開きとなり、次の4年後は西中国部のお世話での再会を約しました。

寂しいニュースは姫路クラブ・YMCAで永年活躍

されてきた村田栄・紀美子ご夫妻は播州を離れてメネットの故郷の那須への転居を4月ごろと伺った事です。ご健康を祈りたいと思います。帰路のバスは酔いも回り「カニ雑炊の夢」を見ながらあっという間の三宮でした。メネットとの日帰り冬の旅の報告でした。

神戸クラブ80周年・メネットクラブ45周年記念例会

小野 勅紘メンによる例会報告は3月プリテンパートとして掲載しております。

西日本区だより-11

小野勅紘西日本区理事事務局スタッフ

「折りづるラン」第2便



(京都駅八条口、新都ホテル前で出迎えを待つ面々)





(順調にゴールする折りづるランナー大野勉メン)

2月27日(土)高槻市役所前を出発して23.1キロを踏破した大野メンによる「折りづるラン」は京都駅の新都ホテル前に12時30分ゴールを向かえました。高槻から中西部・高槻クラブの森本・大谷両メンの伴走よろしく順調です。仁科次期理事夫妻はじめ京都部の皆様、上野書記はじめ西日本区理事キャビネットの皆さん合計10数名が暖かく迎えました。一服の後、集まった数名で新都ホテルでささやかな昼食の時を持ち、来るべき横浜国際大会への夢を馳せました。次週3月6日(土)は15時30分頃から、京都YMCAまで高石ともやさんのご好意で一緒に伴走していただくことになりました。京都からは草津 近江八幡とびわこ部のエリアを一路横浜に向います。出迎えた理事キャビネット一行はそのままJRで新神戸まで向かい、大田六甲部長が開催している、六甲部新人研修会の懇親会に参加してアピールに努めました。

一方西コースは翌28日に岡山駅まで順調に走破し、広島まで半ばまで到達したとのことです。

両コースとも大野メンの只管な努力と沿道のワイズメンの応援で順調に歩を進めております。皆様ますますご支援ならびに[西日本区大会と国際大会への登録をよろしくお願いたします。](#)

折りづるランナー(大野勉)の行程

広島		岡山	神戸	京都	京都YMCA
		2.28	1.17	2.27	3.6
		横浜			

ワイズニュース 浅野純一会長

3月7日(日)

滋賀蒲生野クラブ20周年記念例会

3月13日(土)~14日(日)

次期会長・事業主査研修会 新大阪チサンホテル

3月20日(土) 六甲部評議会 神戸YMCA
午後2時~午後6時30分

3月22日(月・祝)

西宮YMCA ファミリプログラム

西宮のウォーキング 午前10時~午後2時

水の流れるまはに27

(俳句) 山野 直行(小野勅紘)

つくばい
・風花や 庭の蹲踞 初湿り

(1月の中旬、家の近くの銀行から出たところ、一陣の風とともに小雪が吹き込んできた。空を見上げると見事な晴天。あ、これが所謂「風花」というやつか、感慨に耽る間もなく消えていた。ほんの淡雪であった。家に戻ると今しがた風花が吹き込んだという兆しの初湿りの痕がかすかに残っていた。)

・寝転びて 芝の温もり 木の芽風

(最近暖冬のせいか、たまに小春日和かボカボカする日がある。まだまだ春は名のみとは言えない、芝生に寝転んで見ると、芝の温もりが感じられる。しかも、風に乗って木の芽の香りまで漂ってきては、もうお膳立ては万全。春はもうすぐそこまで来ています。)

みちのり
・震災の 道程遠し 冬帽子

(冬帽子を見かけると、ついあの1月17日の阪神淡路大震災が蘇って来る。街はすっかり復興が済んだように見えるが心の中はまだまだ傷は癒えていない。それだけ心の傷は深いような気がする。同じ時期に遠く南米での地震の報にビクついてしまう、そんな道程はまだまだ遠い。)

・マスクして 微笑返へす 眉美人

(マスクして通り掛かったご婦人とすれ違った。マスクしているのだから本当の所はまるで見えないのだが、一瞬こちらを見て微笑んだように見えた。それほどマスクの女性は眉しか見えないのに美人に見える。それは私の大いなる勘違いなのであると思われるが、春も近いせいかもしれないからかもしれない。)

西宮YMCA保育園だより

三島 浩 司メン(保育園園長)
(西宮YMCA保育園だより2月号より)

2月の主題: じっくりと

園庭での鬼ごっこでは、鬼になるのがイヤになって「やーめた」。お部屋での積木遊びやままごとでは、お互いに欲しいものを獲り合い、エスカレートすると思わず手が出てしまうことも…。「先生、ちゃんか(人形

の)赤ちゃんを貸してくれない!」といった先生への直訴。最近是这样いったことが随分少なくなったように思います。子どもたち一人一人が成長し、我慢したり譲り合ったりすることができるようになったこと、また、遊びのストックが増え、遊びの幅が広がったことで他の遊びへの切り替えなどが容易にできるようになったことで互いに衝突することなく、関係を調整しながら遊ぶことができるようになったからではないかと思えます。子どもたちは、保育園という集団の中で保育者やお友達同士との関係、様々な行事や遊びなどを通して「緊張」と「緩和」を体験することで、他者との関係を調整する力(我慢や譲り合いなど)や物事を創り出していく力(新しい遊びの発見や遊びの工夫など)を自ら育てていっています。運動会やクリスマスといった大きな「緊張」を乗り越え、卒園や進級といった「緊張」までのこの「緩和」の時期、「じっくりと」過ごさせてあげることが、子どもたちの成長にとってとても大切なものだと思います。

イエス様の時代、羊飼いは社会的に低いもの、神様から遠い存在とされてきました。クリスマス会で、ゆり組のお友達が演じた聖劇では、この「低いもの、遠いもの」であった羊飼いのもとにイエス様の誕生が告げられたというところに大きな意味がありました。

2月の聖句に登場する羊飼いは、イエス様ご自身です。そして、私たちが羊です。愛する羊のためには自らの命をも捨てることのできる羊飼い、それが良い羊飼いであり、イエス様なのです。「愛の反対は憎悪ではなく、無関心である。」誰からも愛されず、憎まれることすらなく、静かに道端で息絶えていく人々に対して、「あなたも神様の大きな愛の中にいますよ。」とメッセージを送り、神様の愛を実践し続けたマザーテレサの有名な言葉です。

私たちのすべてを知り、自らの命をも投げ出して守ってくださる良い羊飼い、イエス様の大きな愛の中にいることに感謝し、心安らかに歩んで行きたいと思えます。

2月聖句: わたしは良い羊飼いである。

(ヨハネによる福音書 10章11節)

リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 宮脇 華帆さん

いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援 いただきありがとうございます。

2月14日バレンタインの日は、幼児さんの野外活動エルマー例会日でした。月に一度の久しぶりの例会に「今日は清荒神に行くんやろー?」と楽しみにしている様子でした。今回リーダー達は、いつもの活動グループをバラバラにし、新しいグループ編成で過ごしてみることにしました。いつものお友だちから、いつも周りにいたお友だちへ目を向けてもらいたいと思ったからです。女の子も男の

子ども、年長さんも年中さんも、みんな ばらばらで最初は戸惑う子どももいるかと思いましたが、すぐに打ち解けた様子でした。新しいグループになったことで、女の子にお花をあげる男の子が いたり、年中さんに優しく声をかける年長さんがいたり、いつもはリーダーシップをとらない子が堂々と先頭を歩いていたり、子どもたち一人一人の新しい一面をみることで、元気いっぱいの子もたちは、急な山道も「たんけんやー！」と楽しそうにずんずん歩き、景色のいい丘では自分のお弁当を見せ合いっこしながら嬉しそうに食べていました。

会う度にどんどん大きく成長していく子どもたちを身近に感じて私たちも毎月どきどきわくわく しています。子どもたちが自然の中でお友だちと関わりながらチャレンジしていく姿を応援して いきたいと思います。今後も温かいご支援をよろしくお願いいたします。



西宮YMCA 三島浩司メン

3月、サッカーや野外活動、サポートプログラムなどといったYMCAの様々なプログラム、また、保育園の子どもたちも卒業(卒園)や進級の時期を迎えました。この1年だけでなく、これまでの子どもたちの成長振りを改めて実感しつつ、別れがさびしい季節です。同時に、それぞれの新しい道での活躍、更なる成長を願い、期待するうれしい季節でもあります。この季節にいつも思い浮かぶ聖書の御言葉があります。「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」これまでも、そしてこれからも神様が子どもたち一人一人を「光の子」として歩ませてくださることを信じ、それぞれにエールを送りたいと思います。ワイズメンズクラブの皆様も子どもたちの未来のために祈りに加えてくださいますようよろしくお願いいたします。

1. 維持会員増強月間、落語の会、開催

このところ毎年2月を維持会員増強月間として、維持会員の勧誘を進めています。会員活動委員会では、その一環として去る2月6日(土)に、昨年に引き続き、落語の会を開催していただきました。林家染左さんと笑福亭由瓶さんによる落語入門のお話と本格的な落語を伺い、楽しく愉快なひと時を過ごすことができました。参加者も維持会員の方々のご紹介による新たな来会者が多く、110名の方々が参加していただきました。このような

催しを通して、YMCAに親しみ、YMCAを理解し、YMCAの奉仕者、維持会員につながってくださることを期待したいと思います。

2. ネクストビジョン委員会のご報告

神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)の常議員会の下に「ネクストビジョン委員会」が昨年6月から設置され、5回の会合を重ねています。これはGOAL2011に続くビジョンの構築を目指して設置されたもので、先が見通しにくい未来に向けて、神戸YMCAの方向性と方策を探ろうとするものです。特に、第3回から第5回の委員会では、基幹事業であるウエルネス事業と教育事業について考える機会となりました。合わせてウエルネス事業委員会、教育事業委員会でも検討していただき、またスタッフの会議でもこのテーマで協議が重ねられています。最終的にはこの10月の常議員会に何らかの「形」を答申したいと今後も委員会での検討が続くこととなります。

3. 創立125周年の準備状況

現在、神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)の常議員会の下に置かれた「125周年実行委員会」が積極的に準備を進めてくださっています。実行委員会では、2010年度1月YYフォーラム(2011年1月)をキックオフのイベントに、2011年度1月のYYフォーラム(2012年1月)をエンディングとして、いくつかの記念イベントが開催されることとなります。特に2011年5月8日(日)の125周年記念日礼拝及び記念式典が中心となります。そのために「歴史編纂」「記念プログラム」「広報」「総務協賛」の4つのワーキンググループがそれぞれに準備を進めてくださっています。周年行事は時間もお金もかかるエネルギーを要することですが、この機会を通して、更にYMCAの使命を確認し、社会にYMCAをアピールするチャンスでもあります。ボランティアや支援者、共感する人々を結集する時でもあります。ご支援よろしくお願いいたします。

4. 第24回午餐会、開催

2月13日、午餐会が開催されました。今回は、みずほ信託銀行の田中久喜さんに「安心できる相続準備~遺言状よもやま話~」というタイトルでお話をいただきました。YMCAと関係あるの?と思われる方もあるかもしれませんが、公益財団法人認定の

際には、『遺贈』と言って遺言状によって寄付をいただくことで免税措置の優遇を受けられる仕組みを作りたいと考えており、そのことも学びたいと思っていました。お話は、相続の基礎知識から遺言状の書き方や預け方にいたるまで、大変興味深いお話でした。田中さんは神戸YMCA予備校の出身で、長田にあった西神戸ランチの高校生科の助手、ボランティアリーダーもされた方で、担当主事は中村和光さんでした。そのご縁で今回のお話をいただくことになりました。お話の中で印象的だったことは遺言状に『付言』という、財産を贈る思いや意図を綴ることを勧めるというお話で、家族の愛や思いやりを大切にされる田中さんの人柄が伺える感動的なお話でした。出席者は20名と少し少なく残念でしたが、心に残る午餐会となりました。

5. 第131回全国YMCA総主事会議報告

2月15日から17日まで、鹿児島において総主事会議が開催されました。まだ同盟への加盟を終えていませんが、昨年、全国で35番目のYMCAとして鹿児島YMCAが創立され、仲間としての激励を込めて、当地での開催となりました。

1) 同盟報告

- ・鹿児島YMCAが10月14日に創立式典を挙行された。
- ・ハイチ大地震の救援費用として20000ドルを世界同盟に送金した。
- ・昨年12月に神戸女学院大学YMCAが発足した。
- ・東山荘に3月20日、新しいロッジが完成し「ディーン・リーパーメモリアルロッジ」と命名される。
- ・4月1日付けで山梨YMCA総主事の大和田浩二さんが東山荘所長に就任される。

2) 協議・決議・研修内容

- ・全国共同のインターネットシステム(e-YMCA)の現行契約の終了に伴い、2011年からGoogleを活用した新システムを構築する。
- ・同盟規則、モデル会則の策定が迷走していて、早急に整理して決定する。そのためのタスクを設置する。
- ・ファンドレイジングが今後のYMCAの大きなテーマであることを認識し、現状と課題を共有した。今後、総主事会議にこれをテーマとしたタスクを設置して、全国での研究を進める。(神戸YMCAでも研究を進めます。)
- ・2010年度が日本のYMCAキャンプ90周年に当たることから、広報を強化し、PRに努める。

6. マザーテレサは生きている

来る3月25日(木)から4月8日(木)までの2週間、神戸新聞社ギャラリーにおいて、マザーテレサ生誕100年記念写真展が開催されます。主催は実行委員会の形を取っていますが、神戸YMCAを中心に、カトリック教会の方々、キリスト教主義学校の方が、またNPOの方々など様々な方が参画して準備が進められています。中心は中村和光主事が担ってくださっています。準備会では夜遅くまで、ボランティアの方々がミーティングをしておられます。是非、ご来場ください。

7. 西宮YMCA・西宮YMCA保育園職員異動

この3月末をもって、小寺隆志主事(現西宮YMCA館長)が、西神戸YMCAへ異動されます。代って、山根泉主事(現三宮ランチ主任主事)が新西宮ランチ館長に、また、大塚雅人事主(現岡山YMCA主事)、西野みどり主事(新採用)、また、保育園では、門脇加奈さん(元西宮YMCAリーダー)が保育士として加わります。

8. 今後の予定

1) 青年会第3回常議員会

日時: 3月15日(月) 18:30~20:30
場所: 神戸YMCA 4階 サイコー亭

2) 西宮YMCA保育園卒園式

日時: 3月18日(木) 10:00~11:00
場所: 西宮YMCA保育園3階ホール

3) ファミリースマイルウォーキング

(西宮・宝塚YMCAファミリープログラム)

日時: 3月22日(月) 10:00~14:00

場所: 西宮YMCA及び近隣

参加費: 高校生以上 1,000円

小中学生 500円

幼児 無料

申込: 電話で西宮YMCAへ

tel: 0798-35-5987

4) 学校法人第3回理事会・評議員会

日時: 3月23日(火) 18:00~20:00

場所: 神戸YMCA 4階 サイコー亭

5) 社会福祉法人第3回理事会・評議員会

日時: 3月24日(水) 18:30~20:30

場所: 神戸YMCA 4階 サイコー亭

6) 財団法人第6回理事会、第5回評議員会

日時: 3月29日(月) 18:30~20:30

場所: 神戸YMCA 4階 サイコー亭

7) マザー・テレサ生誕100年記念写真展

~マザー・テレサは生きている~

日時: 3月25日(木)~4月8日(木) 11:00~19:00

場 所：神戸新聞社ギャラリー（JR 神戸駅徒歩5分）
入 場：無料

8) イースター早天礼拝

日 時：4月4日(日) 7:00~8:30

場 所：神戸東遊園地(神戸市役所南)

雨天時は神戸YMCA



サポートプログラム15周年記念講演会ご報告

西宮YMCA 野村祥吾主事

1994年に西宮YMCAでスタートしたサポートプログラムが15年の節目を迎えたことを記念して、2月28日(日)、元町のよみうり神戸ホールで『コミュニケーションの力を育む』をテーマに講演会を行いました。

前半の基調講演は、言語聴覚士で『子どもの発達支援を考えるSTの会』代表の中川信子氏をお招きして、お話いただきました。優しい語りかけで、(時にはご自身の話も交えながら!)実践や具体的な事例を通した内容はとても分かりやすく、参加者の方々はうんうんとうなずきながらメモをとっていました。「子どもは“球根”のようなもので、育ちどきも出来上がり(=咲く花)も違うもの」、「一番大切なのは、大人側が子どもの“伝えたい気持ち”を育てること」など、コミュニケーションの土台にもなる大人が子どもに接するときに大切なことについての話から、『発達障がいバンザイ!!』といえるような社会づくりを目指そう、とのお話がありました。

後半のシンポジウムでは、サポートプログラムスーパーバイザーの竹田契一氏の司会の下で、元主任講師の西岡有香氏、吹田市教育センターの森田安德氏、西宮YMCAアトリエクラスの藤井昌子氏、神戸YMCA総主事の水野雄二氏の4名の方々にさまざまな視点から「コミュニケーションの力を育む」ことについてお話をしていただきました。どなたも、子どもたちとの活動経験が豊富な方ばかりだったため、内容はとてもリアリティがあり、子どもたちのために!!という思いが伝わってくるシンポジウムになりました。子どもたちを取り巻く環境が目まぐるしく変化していく中で、子どもたちをサポートしていくためには、家庭だけではなく、学校や、YMCAのような民間機関、病院、行政などの公的機関、地域や社会といったチームワークの大切さを感じることが出来ました。

当日は、約250名の方々にお越しいただき、盛大に行うことができました。多くの参加者の方々を目の当たり

にして、改めて発達障がいへの関心の高さを知ったとともに、子どもたちへのよりいっそうの支援の必要性を感じました。

これまで、サポートプログラムは、たくさんのボランティア・講師の方々に支えられてまいりました。これからも『子どもたちのいのちが光り輝くように』とプログラムを行ってまいります。

ワイズメンズクラブのみなさまには、いつもお支えいただきありがとうございます。これらかもどうぞよろしくお願いいたします。

音を重ねる日々は心を重ねる日々に-46



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチームLOVE代表ひがしの ようこさん
音を重ねる日々は心を重ねる日々に
- 46 今月もお休み 濱 浩一メン

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理 事 通 信



(3月号より抜粋加工しております)

理事主題 **-すべてのいのちを大切に-
“Love & Care All Living Things”**

第13代西日本区理事 鈴木 誠也

あっという間に2月が飛んでいき、3月です。ハイチの情報あまり入らなくなりましたが、2月27日にチリで大地震が起き、津波が28日に日本に到達しました。現地は大変な状況で心配です。阪神淡路大震災の時以上に深刻な状況がハイチや、チリで起きていることを思い、祈りを合わせ、我々に出来ることをそれぞれのクラブで考え、工夫して下さい。西日本区では、理事提案として常任役員会と地域奉仕・環境事業委員会の賛同を頂き、緊急支援として100万円をCS資金から日本YMCA同盟を通じて、ハイチの人々のために、また、YMCA復興支援のため

に贈る手続きを進めております。皆さまのご理解と更なるご支援をお願いいたします。先にお知らせしました福岡中央クラブの小田哲也会長が、JICA緊急医療チーム派遣から元気に帰国されました。現地での貴重な体験をお聞きになりたい方は直接ご連絡下さい。隣国ドミニカのYMCAが拠点となって復興支援活動が進められているとのこと。加えて、南米のチリでもまた大きな地震の被害が伝えられています。お近くのYMCAと協働して、募金活動を継続して頂くようお願いいたします。

さて、広島・西日本区大会と横浜・国際大会への登録はお済みでしょうか？登録状況は毎月報告しておりますが、クラブ会長様には、登録見込み数を把握して部長へお知らせ下さい。実行委員会では目標数が確保出来れば、乾杯は是非シャンパンで行いたいと、実際の登録数によって内容を細かく検討しつつ準備しています。とは言うものの、大会は必ず成功させねばなりません。一次締切の3月末までに皆様には必ず登録頂き、スタッフを安心させてあげてください。

この度、アジア地域のエクステンションに係るガイドライン変更の為にクラブ投票が終了しました。ご協力ありがとうございました。理事鈴木は2月26-28日アジアエリア年央会議に出席して、クラブ会長投票の開票に立ち会いました。西日本区からの有効投票は52で、投票率65%でした。結果として全体の投票は295に対して賛成258、反対25無効12で、賛成3分の2を確保して決定されました。国際議会での承認を経て、2011年より新しいエリアが誕生の予定です。

3月は学期末、年度末を迎えて忙しいことですが、ワイズの各部では評議会の時期を迎えます。実りのある会議を期待いたしております。その中でも「すべてのいのちを大切に」弱い立場にある人々を覚えて「祈り、励ます」国際協力募金(ハイチ大震災被災者救援募金)やEFJWFファンドにも目を向けて頂くようお願いいた

します。「嬉しい出来事、楽しい思い出にEFJWFを捧げましょう！」

「6月は広島で、8月は横浜で、逢いましょう！」

トピックス・とびっくす23

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、環境省が平成19年3月に発行した“動物の保護及び管理に関する法律のあらまし”という小冊子から前回までの「動物の保護及び管理に関する法律」とは に続いて紹介しましょう。

4 動物取扱業の規制

動物取扱業を営む者は、事業所・業種ごとに都道府県知事又は政令市の長の登録をうけなければなりません。また、動物の管理の方法や飼養施設の規模や構造などの基準を守ることが義務づけられています。動物取扱業者は命あるものである動物を扱うプロとして、より適正な取扱いが求められます。



編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

今月、3月のプリテンも二月のプリテン同様に発行が遅れました。今回は前回の私事都合でなく、他事都合でしたがいつもより遅れましたこと、お詫びいたします。早々と原稿を下された方や、プリテンを首を長くしてお待ちくださっておられる方、そんな人おるかいな、との影の声がありそう、ですが原稿はできるだけ速やかにご送付いただけますよう、ご協力よろしく申し上げます。

なお今月は3月プリテンパート として2月例会報告と神戸クラブ80周年・メネットクラブ45周年記念例会報告を別紙で作成しておりますのでこちら是非御高覧ください。

